取扱説明書
プリンタ・セット　トラックスケール用
品番：＃５３１０７　型式：９０４８８

１，仕様

●プリンタ本体

・消費電力：待機時；２W／印刷時；１５W
・使用環境：温度；５～４０℃／湿度；３５～８０％
・保管環境：温度；－２０～６０℃／湿度；１０～９０％
・記 録 紙：幅５８±０．５mm×厚み６０～６５μm×最大直径４０mm×用紙コア最大径８mm（感熱紙）
・バッテリー：リチウムイオンバッテリー　ＤＣ７．４Ｖ
・充電時間：約３時間（新品時）

●ＡＣ充電アダプター

・入力電圧：ＡＣ１００Ｖ
・出力電圧：ＤＣ９Ｖ

２，プリンタ各部の説明

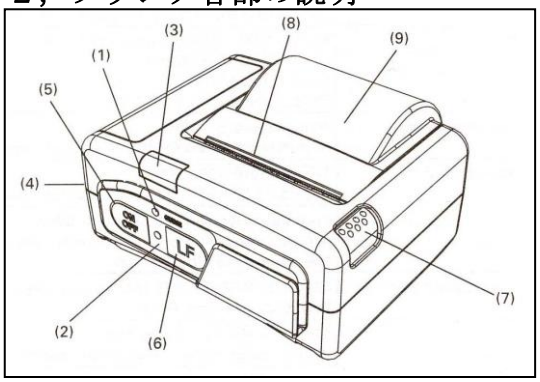

図１

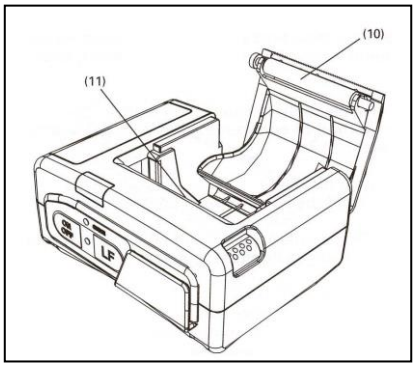

図２

（１）　ＣＨＡＲＧＥ　ＬＥＤ
赤点灯：バッテリー充電中
緑点灯：バッテリー充電完了

（２）　パワー（エラー）ＬＥＤ
緑点灯：電源をＯＮにすると点灯します。
赤／緑の早い点滅：用紙が無いか、ペーパーカバーが開いている時に点滅します。
赤／緑の遅い点滅：印字ヘッドが過熱しているか、ＬＦスイッチの操作待ちの時に点滅します。
赤点灯：紙送りスイッチを押している時に点灯します。
　　電源をＯＦＦにする為に、ＯＮ／ＯＦＦスイッチを押し続けている時に点灯します。

（３）　赤外線ユニット
本システムでは使用しません。

（４）　シリアルポート（カバー）
シリアルケーブルの接続に使用します。

（５）　ＯＮ／ＯＦＦスイッチ
電源をＯＮにするには、ＯＮ／ＯＦＦスイッチを１秒間押し続けて下さい。
電源をＯＦＦにするには、ＯＮ／ＯＦＦスイッチを押し、パワーＬＥＤの色が赤⇒緑になるまで押し続けて下さい。

（６）　ＬＦスイッチ
１回押すと、１行分紙送りをします。連続で紙送りをする場合は、押し続けて下さい。
用紙切れ等で印字が止った時に印字待ちデータがプリンタに残っていた場合、印字が出来る状態に復帰後、このスイッチを押して印字を再開して下さい。

（７）　カバーオープンスイッチ
用紙を取り替える場合は、このボタンを押して、ペーパーカバーを開けて下さい。

（８）　カッター
印字した用紙を切断する場合は、用紙がカッターに確実に触れる角度で、用紙の端からゆっくりと引張って下さい。

（９）　ペーパーカバー
用紙の収納カバーです。

（１０）紙送りローラー
用紙の紙送りに使用します。

（１１）印字ヘッド
用紙にデータを記録します。

３，用紙の交換方法

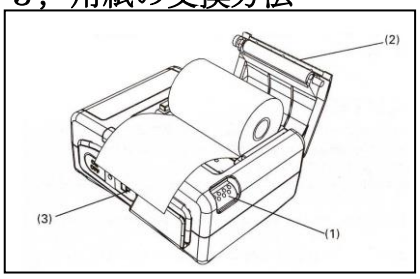

図３

（１）カバーオープンスイッチを押して下さい。
（２）ペーパーカバーを開けて下さい。
（３）図３の様に新しい用紙を入れて、プリンターのコントロールパネルに達するまで用紙を引き出して下さい。
（４）ペーパーカバーを閉めて下さい。
（５）印字待ちのデータがある場合は、ＬＦスイッチを押して、印字を再開して下さい。

４，接続方法

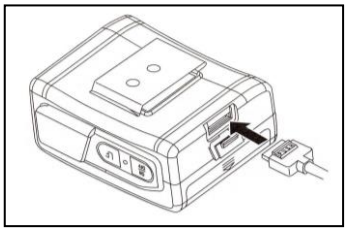

図４

① トラックスケールとプリンタの電源が、ＯＦＦになっている事を確認して下さい。
② 図４を参考に、電源ＯＦＦの状態で、シリアルポートカバーを開け、シリアルケーブルのコネクターをシリアルポートにゆっくり差し込んで下さい。その際、コネクターは『ＰＵＳＨ』とある面を上向きにして下さい。もし、電源ＯＮの状態でシリアルケーブルを接続した場合は、電源をＯＦＦにして、再度電源をＯＮにして下さい。
③ ②で取り付けたコネクターと反対側のＲＳ－２３２Ｃ　９ピンコネクター（メス）を、トラックスケール接続ケーブルの９ピンコネクター（オス）と確実に接続して下さい。
④ ２台のトラックスケールの充電キャップを取り外して下さい。
⑤ ③で取り付けたプリンタに一番近いトラックスケール接続ケーブルのコネクターを、＃１のステッカーを貼り付けたトラックスケールの充電コネクターに溝を合わせて、時計回転方向に回して接続して下さい。
⑥ ２番目に近いトラックスケール接続ケーブルのコネクターを、＃２のステッカーを貼り付けたトラックスケールの充電コネクターに接続して下さい。
⑦ プリンタのシリアルポートからシリアルケーブルのコネクターを取り外す時は、『ＰＵＳＨ』ボタンを押しながら、まっすぐ引き抜いて下さい。トラックスケール接続ケーブルのコネクターは、反時計回転方向に回すと充電コネクターから取り外す事が出来ます。

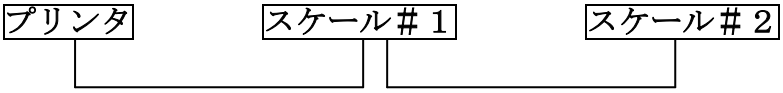

図５

５，使用方法

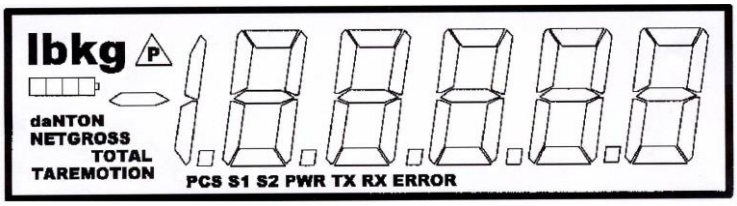

図６

① ２台のトラックスケールの合計重量をプリンタで印字する場合は、トラックスケールを『ＴＯＴＡＬ』モードにして使用する必要があります。『ＬＯＣＡＬ／ＴＯＴＡＬ』ボタンを押すと、『ＴＯＴＡＬ』モードになり、トラックスケールのディスプレーの左下に『ＴＯＴＡＬ』と表示されます。もう一度『ＬＯＣＡＬ／ＴＯＴＡＬ』ボタンを押すと、『ＴＯＴＡＬ』モードは解除され、ディスプレーの『ＴＯＴＡＬ』表示は消えます。
② ２台のトラックスケールの電源を、ＯＮにして下さい。トラックスケールが『ＴＯＴＡＬ』モードの状態で電源をＯＮにする場合、必ず２台のトラックスケールの電源をＯＮにして下さい。１台のトラックスケールのみの電源をＯＮにした場合、トラックスケールのディスプレーに『－ｔＯｔ－』とエラーメッセージが表示されます。もう一方のトラックスケールの電源をＯＮにするか、エラーメッセージが表示されているトラックスケールの『ＬＯＣＡＬ／ＴＯＴＡＬ』ボタンを押すと、『ＴＯＴＡＬ』モードが解除され、ディスプレーに『０』と表示され、通常に使用する事が出来ます。
③ プリンタの電源を、ＯＮにして下さい。
④ ＃１、＃２それぞれのトラックスケールの『ＴＯＴＡＬ』モードの設定により、トラックスケールの重量表示、プリンタから出力される印字が異なります。重量表示、印字は下記の通りです。

	A	B	C	D
＃１のトラックスケール	ＴＯＴＡＬモード中	ＴＯＴＡＬモード中	ＴＯＴＡＬモード解除	ＴＯＴＡＬモード解除
＃２のトラックスケール	ＴＯＴＡＬモード中	ＴＯＴＡＬモード解除	ＴＯＴＡＬモード中	ＴＯＴＡＬモード解除

Ａ：ディスプレーの表示；＃１と＃２のトラックスケールの合計重量がそれぞれのトラックスケールに表示されます。
　　プリンタからの印字；『ＸＸＸ　ｋｇ　ＴＯＴＡＬ　ｏｆ　０２　ＳＣＡＬＥＳ』と印字されます。『ＸＸＸ』は、２台のトラックスケールに積載されている重量の合計です。
Ｂ：ディスプレーの表示；＃１のトラックスケールには、＃１と＃２のトラックスケールの合計重量が表示されます。
　　＃２のトラックスケールには、＃２のトラックスケールの重量のみ表示されます。
　　プリンタからの印字；『ＸＸＸ　ｋｇ　ＴＯＴＡＬ　ｏｆ　０２　ＳＣＡＬＥＳ』と印字されます。『ＸＸＸ』は、２台のトラックスケールに積載されている重量の合計です。
Ｃ：ディスプレーの表示；＃１のトラックスケールには、＃１のトラックスケールの重量のみ表示されます。
　　＃２のトラックスケールには、＃１と＃２のトラックスケールの合計重量が表示されます。
　　プリンタからの印字；『ＹＹＹ　ｋｇ』と印字されます。『ＹＹＹ』は、＃１のトラックスケールのみの重量です。
Ｄ：ディスプレーの表示；＃１のトラックスケールには、＃１のトラックスケールの重量のみ表示されます。
　　＃２のトラックスケールには、＃２のトラックスケールの重量のみ表示されます。
　　プリンタからの印字；『ＹＹＹ　ｋｇ』と印字されます。『ＹＹＹ』は、＃１のトラックスケールのみの重量です。

プリンタからの印字は、＃１のトラックスケールの『ＰＲＩＮＴ／ＡＣＣＵＭ』ボタンを押して下さい。上記に基づいて、印字されます。尚、＃２のトラックスケールの『ＰＲＩＮＴ／ＡＣＣＵＭ』ボタンを押しても、印字は出来ません。又、＃２のトラックスケールの重量のみを印字する事も出来ません。

⑤ 作業を終了する時は、２台トラックスケールとプリンタの電源をＯＦＦにして下さい。

6，充電方法

① 下記の様な症状が出た場合は、バッテリーの充電が必要になります。
・用紙に『Ｌｏｗ　Ｂａｔｔｅｒｙ』と印字される。
・プリンタからブザーが３回鳴る。

② 充電は、付属のＡＣ充電アダプターのコネクターをプリンター裏面下部のＤＣジャックに差し込んで、ＡＣ充電アダプターをコンセントに接続して下さい。この時、ＣＨＡＲＧＥ　ＬＥＤが赤色に点灯します。

③ ＣＨＡＲＧＥ　ＬＥＤが緑色に点灯すると、充電完了です。

④ 充電中に何らかの問題が発生した場合は、充電が止り、ＣＨＡＲＧＥ　ＬＥＤが赤色の点滅になります。ＡＣ充電アダプターを差し直すと充電が始まり、ＣＨＡＲＧＥ　ＬＥＤが赤色に点灯します。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品の重大な破損を招く恐れがあるもの。）

- 充電は室温（５～３５℃）で行って下さい。
- 充電が完了した後で、**続けて再充電を行わない**で下さい。バッテリーの性能が劣化します。
- プリンタを充電した状態で、使用をしないで下さい。バッテリーの寿命が短くなります。
- 寒冷地で使用すると、使用時間が短くなります。
- 充電時間は、バッテリーの状態にもよりますが、約３時間です。ＣＨＡＲＧＥ　ＬＥＤが緑色に点灯すると、直ぐに充電を停止し、ＡＣ充電アダプターをコンセントから外して下さい。
- 付属のＡＣ充電アダプター以外では、充電しないで下さい。プリンタ、バッテリーが故障する原因になります。

7，注意事項

⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う危険性があるもの。）

- プリンタを使用して作業をする時は、**周囲の安全を確認**して作業をして下さい。重大事故につながる恐れがあります。
- **トラック等が動いている時に、プリンタを使用して印字作業をしない**で下さい。重大事故につながる恐れがあります。
- 万一、発熱、発煙、及び異臭が発生している場合は、直ちにプリンタの電源をＯＦＦにして、使用を中止して下さい。火災の原因になります。
- 万一、プリンタ本体に金属片、液体等が入ってしまった場合は、直ちにプリンタの電源をＯＦＦにして、使用を中止して下さい。火災の原因になります。
- 用紙を交換する時に、印字ヘッドやカッターに触れないで下さい。印字ヘッドが熱くなっている時は、やけどをする恐れがあります。又、カッター部で手等をケガする恐れがあります。
- 付属のシリアルケーブルの片方のコネクターを接続した状態で、もう一方のコネクターの金属部分に触れないで下さい。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品の重大な破損を招く恐れがあるもの。）

- 過去に修理されたトラックスケール、及び旧タイプのトラックスケールは、本プリンタで印字出来ない場合があります。販売店まで、ご連絡下さい。
- 本機は防水仕様ではありません。**雨天時や水が掛かる環境では使用しない**で下さい。
- 仕様に記載されている環境以外や直射日光が当たる場所、暖房器具の近く、埃が多い場所で、使用、及び保管をしないで下さい。故障の原因になります。
- 本機、内蔵バッテリーの分解、修理、改造はしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなる恐れがあります。
- 本機はトラックスケール専用のプリンタです。その他の用途には使用しないで下さい。
- ＡＣ充電アダプター、トラックスケール接続ケーブルに破損、断線がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。感電、漏電、火災の原因になります。
- プリンタ本体に破損、変形がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。事故につながる恐れがあります。
- プリンタ本体に衝撃を与えないで下さい。故障の原因になります。
- 印字中、又は印字待機中は、プリンタを移動させたり、振動や衝撃を与えないで下さい。電源が切れて、データが失われる可能性があります。
- 指定している印字用紙以外を使用しないで下さい。正確に印字が出来ません。
- 印字ヘッドを鋭利な物や堅い物で叩いたり、こすらないで下さい。
- 結露した場合は、必ず印字ヘッドを十分に乾燥させてから印字して下さい。結露したまま印字を行うと、印字ヘッドを傷める恐れがあります。
- 本商品は乳幼児の手の届かない場所に保管して下さい。
- 感熱紙は長期間保管すると、変色、変質、印字が薄くなります。長期保存する場合は、複写機でコピーして保存する事をお勧めします。
- シリアルケーブル、ＡＣ充電アダプターのコードを踏んだり、叩いたり、上に物を載せないで下さい。
- トラックスケール（＃５３１０６）の取扱説明書も参考に、使用して下さい。

株式会社パーマンコーポレーション

〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　　０１２０－２０２－８００